

神奈川県知事：松沢 成文 様
神奈川県教育委員会教育長：引地 孝一 様
横浜市長：中田 宏 様
横浜市教育委員会教育長：押尾 賢一 様
独立行政法人都市再生機構理事長：小野 邦久 様
日本放送協会：横浜放送局局長 吉岐 哲平 様
株式会社 ゼファー本社：代表取締役 飯岡 隆夫 様
株式会社 大和地所：代表取締役 押川 雅幸 様

2007年12月19日

山下居留地遺跡の価値を残す方策の検討に関する要望書

「山下居留地遺跡の価値を考える会」賛同団体等
(社)日本建築学会神奈川支所 / (社)日本建築家協会神奈川地域会
横浜市建築設計協同組合 / 横浜市建築事務所協会(予定)
日本都市計画家協会横浜支部(予定) / ヨコハマ洋館探偵団
神奈川地域史研究会 / 旧モーガン邸を守る会
よこはま洋館付き住宅を考える会 / 市民等有志(署名者名簿を別途添付)

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

横浜市山下町地区第一種市街地再開発事業(B1地区)に伴う、旧山下居留地遺跡(横浜市中区No.21遺跡)の発掘によって、当該敷地内には、旧居留地時代のコッキング商会など外国商館建物遺構、道路・下水道・ガス管など都市基盤遺構、ガラス杯など当時の外国人の生活を示す出土品など、横浜近代の歴史を物語る極めて重要な遺構が、大規模に、かつ良好な状態で現存していることが判明しました。これらの遺構は、慶応2年の大火、大正12年の関東大震災、第2次世界大戦、そしてその後のビル建設などによって、そのほとんどを失った旧山下居留地の様相を今日に伝えることのできる、横浜市及び神奈川県並びに我が国にとって、極めて貴重且つ稀有な遺構です。これらの遺跡の有する価値は、開港150周年を迎えようとしている横浜市はもちろん、当該敷地所有者である神奈川県として、ぜひとも次世代に継承すべきものであり、より広く一般に公開した上での更なる価値の検証が不可欠であります。また、今後の関連事業が予定されている、B2地区に関しても同様の遺構が存在している可能性があります。

わたしたち「山下居留地遺跡の価値を考える会」は、建築、建築史、都市計画、まちづくりの専門家及び市民等の有志として、関係者各位に、以下にあげる対策を含んだ本遺構の価値を最大限継承するための対策を講じていただくことを、切に要望する次第です。

- 一．発掘調査の最終成果を受けた上での価値の再検証
- 一．一般への十分な周知、広報を行った上での公開見学会の実施(年始の実施を目安とする)
- 一．工期の見直し等を含む価値の検証に必要な時間的措置
- 一．設計変更等を含む価値を継承するための事業計画(B2地区を含む)の再検討の措置
- 一．上記に伴うすべての情報の公開

以上の要望に対するご回答を年内にお願いいたします。

また、ご回答に際しては、会見の席を設定いただきます様よろしくお願いいたします。

敬具

山下居留地遺跡の価値を考える会暫定事務局(よこはま洋館付き住宅を考える会事務局内)
〒240-0016 横浜市保土ヶ谷区初音ヶ丘9-2 電話 045-335-7164 FAX 045-335-7176